

# 算数プリント「大きい数のひっ算を考えよう①」

年 組 名前( )

①これから、3年生で「大きい数のひっ算」を新しくなります。まずは、2年生でなったひっ算のふくしゅうをしましょう。

□の中に数字をかいて、うめていきましょう。

$9 + 4$

筆算で  
やってみよう。

$13 - 4$

$29 + 14$

2	9
+	14

4	3
-	14

$43 - 14$

$69 + 54$

+	

-	

$123 - 54$

$429 + 64$

+	

-	

$493 - 64$

②2年生のふくしゅうはできましたか？では、これから3けたの数のたし算を学しゅうします。まずは、次の問だいを読んてみましょう。

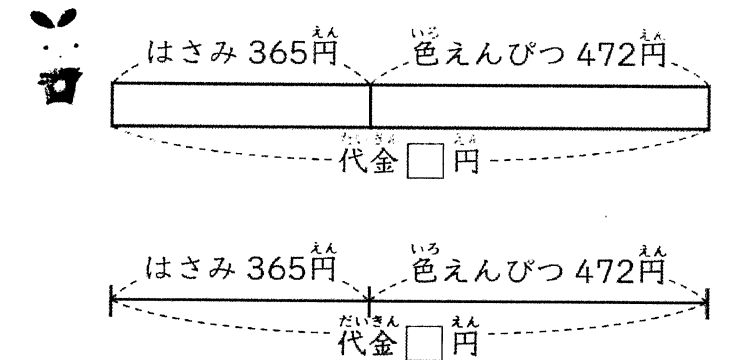
**1** 365<sup>えん</sup>のはさみと、472<sup>えん</sup>の色えんぴつを<sup>か</sup>買います。  
代金<sup>だいきん</sup>は いくらですか。



③だいたいいくらかを考えてみて、式をかいてみましょう。

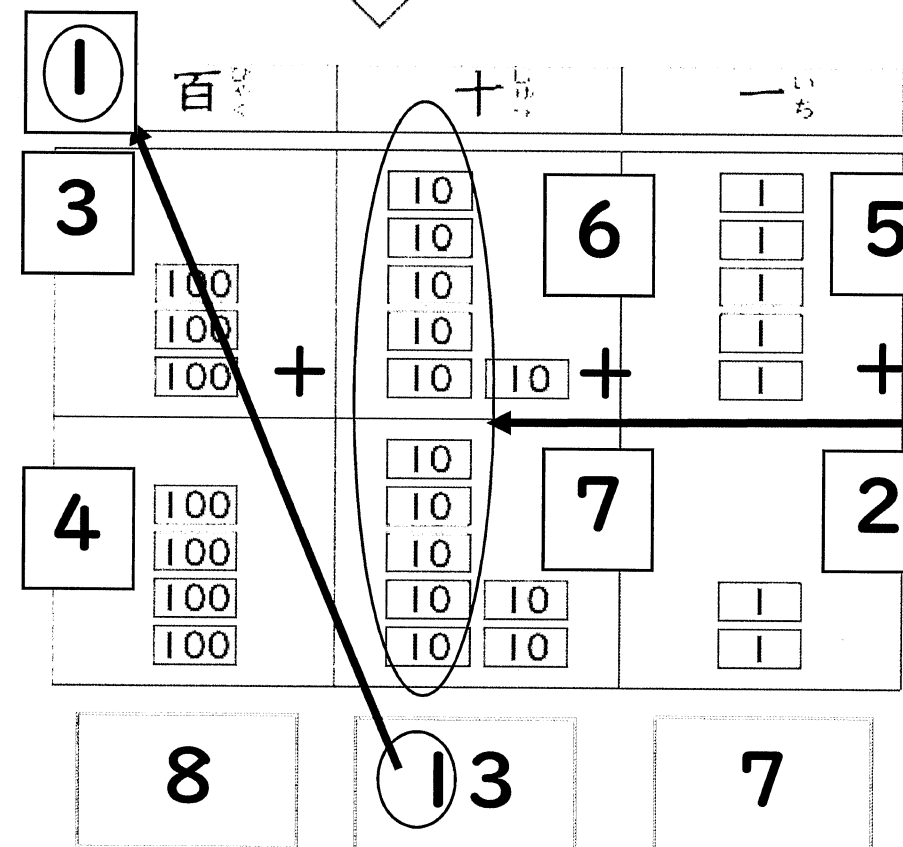
式

④図にあらわすと、よこのようになります。これを、下のよこのひっ算にするとどのように計算すればいいでしょうか？



$$\begin{array}{r} 365 \\ + 472 \\ \hline \end{array}$$

いままでならったとおり、位をそろえて、一の位からじゅんばんに計算していきましょう。そして、下のひっ算の□の中をかいて、うめましょう。



十の位の6+7=13  
この分を百の位にくりあげる!

★では、自分で計算してみましょう!

$365 + 472 =$

こた  
答え  えん  
円

	<input type="text"/>		
	3	6	5
+	4	7	2
<hr/>			
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>



たし算の筆算は、3けたになっても、位をそろえて書き、一の位からじゅんに位ごとに計算する。

★ひっ算をかいて、つぎの問だいをときましょう。

- ①  $243 + 625$       ②  $327 + 164$       ③  $408 + 369$   
④  $134 + 592$       ⑤  $743 + 65$       ⑥  $81 + 630$

①

②

③

④

⑤

⑥

ふりかえりをかきましょう。

# 算数プリント「大きい数のひっ算を考えよう②」

年 組 名前 ( )

①3けたのたし算のひっ算をべんきょうしました。計算のしかたはわかりましたか?では、少しだけレベルアップしてみましょう!

2

つぎの計算をひっ算でしましょう。

- ①  $347 + 178$       ②  $763 + 459$

ひっ算のしかたを考えよう。

$$\begin{array}{r} 47 \\ + 78 \\ \hline \end{array}$$



①	3	4	7	②	7	6	3		
	+	1	7	8		+	4	5	9

どの位でもくり上がりが...



①の問だいのヒントです!一の位と十の位でくり上がりがあるね!

十の位  
1と4で5。  
 $5 + 7 = 12$   
百の位に  
1くり上げる。

2

$$\begin{array}{r} 11 \\ ① \quad 347 \\ + 178 \\ \hline \end{array}$$

一の位  
 $7 + 8 = 15$   
十の位に  
1くり上げる。

1

では、計算してみよう!

①	3	4	7	
	+	1	7	8

つぎに、②の問だいのヒントです!ぜんぶの位でくり上がりがあるね!

2

十の位  
1と6で7。 $7 + 5 = 12$  百の位に1くり上がる。

3

百の位  
1と7で8。  
 $8 + 4 = 12$   
千の位に  
1くり上げる。

$$\begin{array}{r} 11 \\ ② \quad 763 \\ + 459 \\ \hline \end{array}$$

一の位  
 $3 + 9 = 12$   
十の位に  
1くり上げる。

1

では、計算してみよう!

②	7	6	3	
	+	4	5	9



くり上がりが何回あっても、百の位でくり上がっても、これまでと同じしかたで筆算でできるね。

ふりかえりをかきましょう。

★ひっ算をかいて、つぎの問だいをときましょう。

①  $196 + 739$

②  $264 + 148$

③  $379 + 62$

④  $26 + 785$

⑤  $205 + 398$

⑥  $487 + 17$

⑦  $623 + 514$

⑧  $407 + 834$

⑨  $942 + 58$

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨



★ひっ算をかいて、つぎの問だいをときましよう。

①  $765 - 413$

②  $587 - 324$

③  $693 - 365$

④  $432 - 126$

⑤  $920 - 914$

⑥  $710 - 5$

⑦  $638 - 271$

⑧  $349 - 73$

⑨  $507 - 86$

⑩  $734 - 258$

⑪  $865 - 287$

⑫  $642 - 49$

ひき算の筆算も、たし算の筆算と同じように、  
2けたのときと同じしかたでできたよ。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

# 算数プリント「大きい数のひき算を考えよう④」

年 組 名前( )

3けたのひき算もできるようになりましたか？つぎもひき算の問題です。少しだけレベルアップします！では、つぎの問題を読んでみましょう。



402 - 175 を ひっさん筆算で かんがきましょう。

ひっさん筆算の かんがしかたを かんがえよう。

- 一の位の けいさん計算で、十の位から くりさげられないので…。

一の位に くりさげたいけど0だからできない。

4	0	2
—	1	7
	7	5

2-5ができないから、十の位から くりさげる。

★一の位からじゅんに計算するんだけど…。2-5はできない…。十の位は0だから、くりさげられないね…。この問題は、つぎのようにしてときましょう！

百	十	一
100 100 100 100		1 1
100 100 100 100	10 10 10 10 10 10 10 10	1 1
100 100 100 100	10 10 10 10 10 10 10 10	1 1 1 1 1 1 1 1
100 100 100 100	10 10 10 10 10 10 10 10	1 1 1 1 1 1 1 1

4	0	2
—	1	7
	7	5

やり方はわかったかな？では、自分で計算してみよう！

4	0	2	
—	1	7	5

✖ しゅう十の位から くりさげられないときは、ひゃく百の位から くりさげて けいさん計算すれば いいいいんだね。

★ひっ算をかいて、つぎの問だいをときましょう。

数が大きく なっただけで、筆算の しかたは これまでと 同じだね。

①  $408 - 279$     ②  $905 - 608$

③  $702 - 644$     ④  $300 - 292$

⑤  $503 - 76$     ⑥  $206 - 18$     ⑦  $307 - 69$

⑧  $801 - 3$     ⑨  $600 - 8$     ⑩  $905 - 7$

①

②

⑦

⑧

③

④

⑨

⑩

⑤

⑥

ふりかえりをかきましょう。



# 算数プリント「大きい数のひっ算を考えよう⑤」

年 組 名前( )

くり下げられないときは、つぎの大きい位から1くりさげて計算することがわかりましたね。つぎは、また問だいがむずかしくなります。では、問だいを読んでみましょう。

**3** 265円の画用紙を買うために、レジで1000円さつを出しました。おつりはいくらですか。

だいたいいくらか考えてみて、式をかいてみましょう。

しき  
**式** ▶

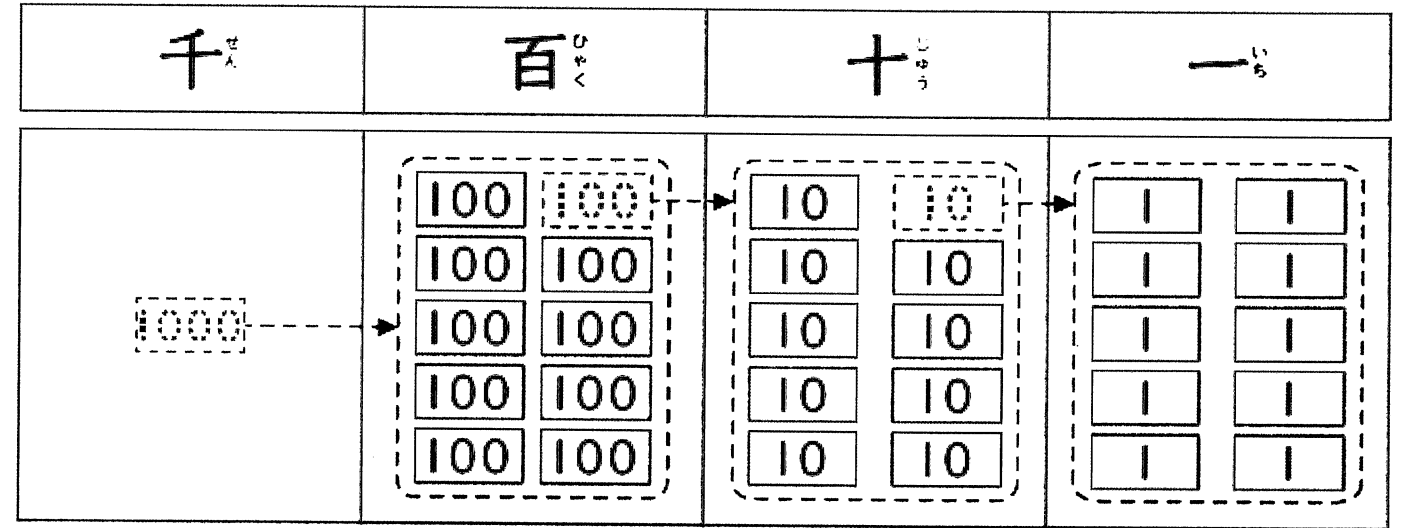
ひっ算のしかたを考えよう。

	0	0	0
—	2	6	5

0-5はできないから、十の位から1くり下げたいけど、十の位も0だからできない…。

十の位も百の位もくりさげることができない…。

★つぎの大きい位から1くりさげて計算したいんだけど、0で計算ができない。この問だいは、つぎのようにしてときましょう！



千の位から、百の位、十の位、一の位へとじゅんにくり下げる！

ひっ算であらわすと、よこのようになります。

	9	9	
	<del>10</del>	<del>10</del>	<del>10</del>
—	2	6	5

✳ 上の位から じゅんに  
くり下げて 計算すれば いいんだね。

やり方はわかったかな？では、自分で計算してみよう！

	1	0	0	0
—		2	6	5

★ひっ算をかいて、つぎの問だいをときましょう。

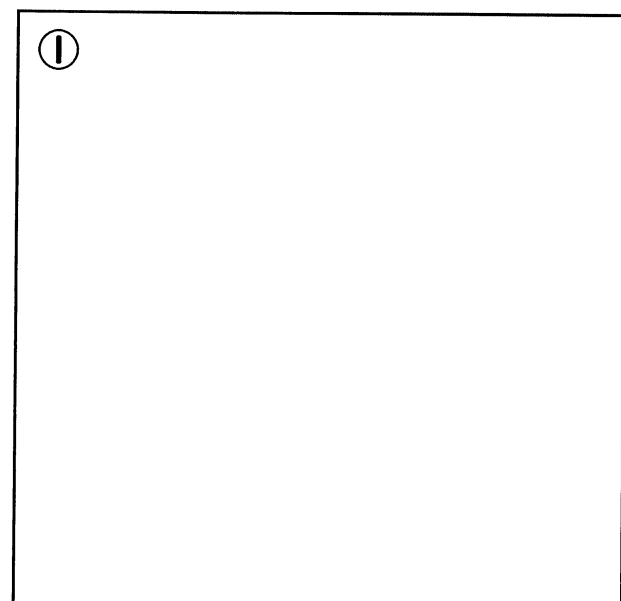
4けたの 数に なっても、同じ しかたで  
たし算や ひき算が 筆算で できそうだな。

①  $1000 - 521$

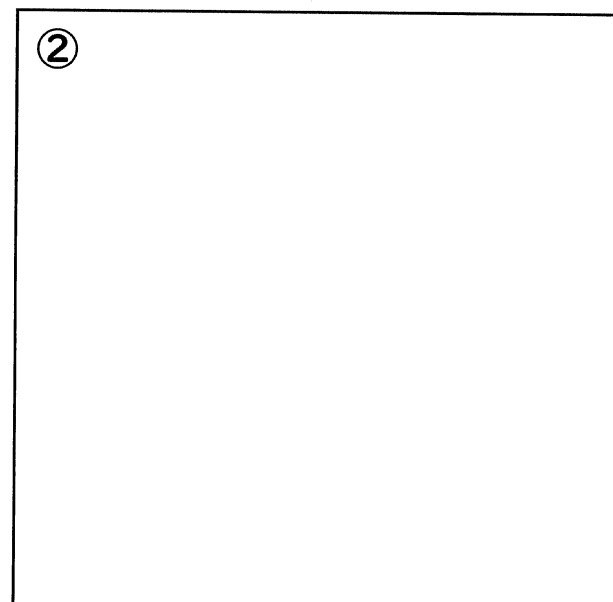
②  $1000 - 382$

③  $1000 - 46$

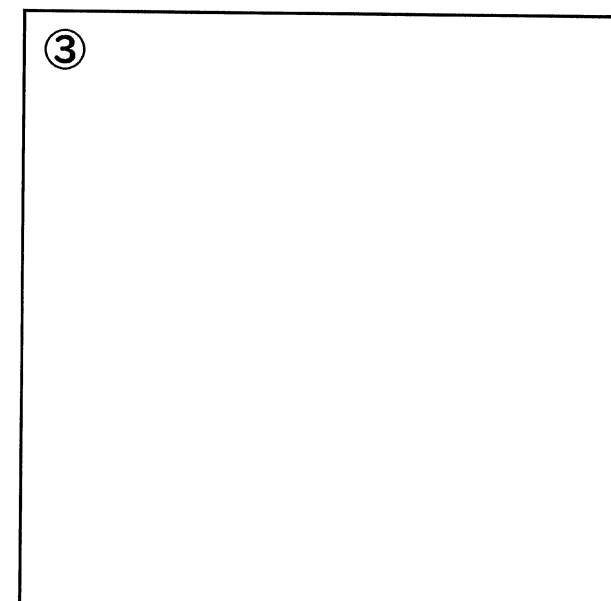
①



②



③



答えが 1000 になる 式を、

3つ つくりましょう。

+  = 1000

+  = 1000

+  = 1000

ふりかえりをかきましょう。



# 算数プリント「大きい数のひっ算を考えよう⑥」

年 組 名前( )

- ①  $1346 + 5287$       ②  $6293 + 1407$       ③  $7321 + 486$
- ④  $3948 + 52$       ⑤  $267 + 9135$       ⑥  $3726 - 1483$
- ⑦  $6035 - 4987$       ⑧  $5293 - 917$       ⑨  $5013 - 48$

たし算やひき算は、数が大きくなっても、これまでと同じしかたでひっ算ができることが分かりました。つぎは、4けたの計算です。ひっ算を書いて、がんばって問だいをといてみましょう！

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

ふりかえりをかきましょう。

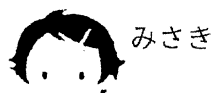
4けたの計算はだんだんとできるようになりましたか？すこし、おもしろい問だいに挑戦しましょう！

下の式のように、答えが9000になるたし算の式をつくりましょう。ただし、つかえる数字は0から9までで同じ数字はつかえません！

$$\square\square\square\square + \square\square\square\square = 9000$$

式の作り方を考えよう。

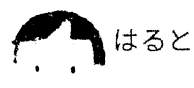
筆算で考えてみよう。



$$\begin{array}{r} 5074 \\ + 3926 \\ \hline 9000 \end{array}$$



$$\begin{array}{r} 7432 \\ + 1568 \\ \hline 9000 \end{array}$$



$$\begin{array}{r} 2857 \\ + 6143 \\ \hline 9000 \end{array}$$

3人は上のように式をつくりました。よくみると、3つのきまりをみつけることができます。

①1の位はたすとなんの数になりますか？

②十の位はたすとなんの数になりますか？百の位はたすとどうなるかな？

③千の位はたすとなんの数になっているかな？

数のしくみに注目するとつくれるね。

② 答えが9000になる4けたの数のたし算の式を、ほかにもつくりましょう。

$$\square\square\square\square + \square\square\square\square = 9000$$

②

③ たかしさんは、1748円の絵の具セットをかうために、レジで5000円さつを出しました。おつりはいくらですか。

式

答え

③